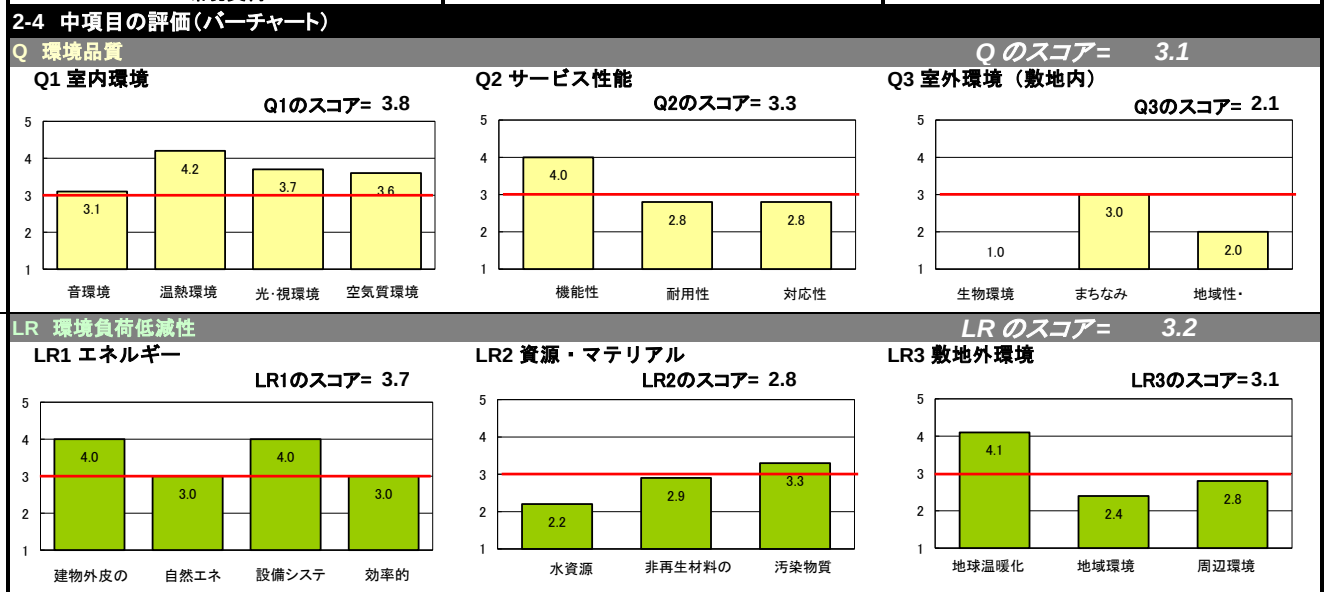
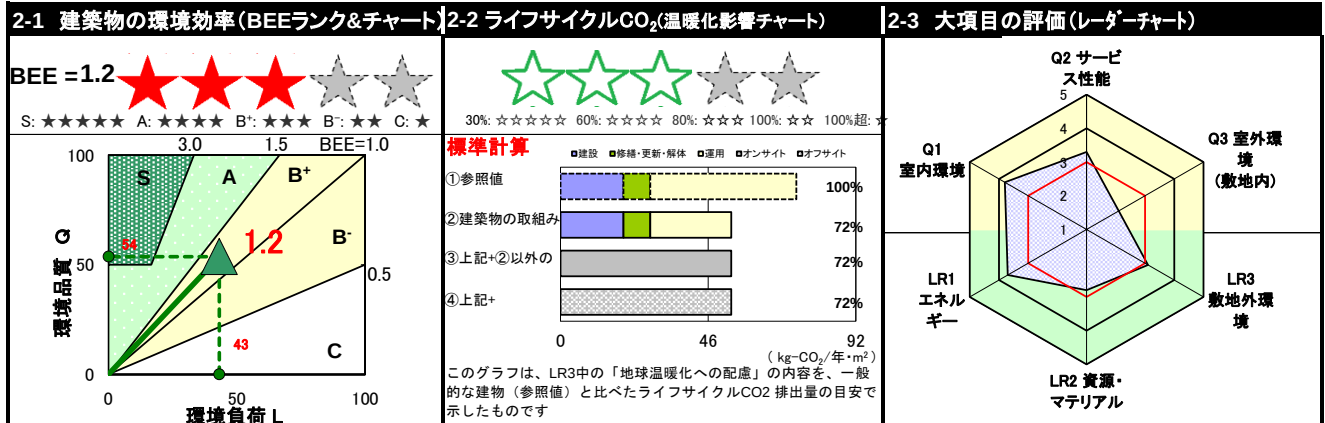


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熊谷市末広計画 新築工事	階数	地上13F
建設地	埼玉県熊谷市末広一丁目60番1、番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	216 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年3月18日
敷地面積	1,510 m ²	作成者	木村 恵大
建築面積	650 m ²	確認日	2025年3月18日
延床面積	5,538 m ²	確認者	木村 恵大



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。	LED、省エネ設備、複層ガラスを採用。	
Q1 室内環境 二重壁工法によりDr-50を目標値に設定 F☆☆☆☆を床・壁・天井・天井裏の70%以上の面積に採用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3を取得。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 断熱性能等級4を取得。 LED照明を共用部全てに採用。	LR2 資源・マテリアル 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。	LR3 敷地外環境 ゴミ置き場を敷地内に設けることで敷地外への環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

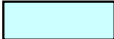
建物名称	(仮称)熊谷市末広計画 新築工事	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.1	+	1.6	=	5.7
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄